

つなぐ手ねっと

(リハビリスタッフが名付けてくれました。私たち、仲間、地域の復興へ向けた表現です。)

長町・若林地域訪問対策本部発 No.26 2011年4月29日

若林地地区の友の会 理事さんと久しぶりの再会



回収された写真 (若林体育館)



連絡の取れない友の会会員の訪問にて (若林地地区)

28日(木)は全国から支援者6名が来られました。午後からは、四郎丸地域と被災された会員訪問、避難所となっている若林体育館とJA六郷へ訪問しました。若林地地区では、若林クリニックの平尾所長、加藤事務長、京師長、友の会佐藤事務局長さんの案内で現地に向かいました。津波によって荒浜集落は壊滅してしまいました。その地区の赤間理事さんが避難している若林体育館を尋ねました。「隣近所に声をかけて、避難所に向かったのよ。でもそんなに大きな津波が来るとは思ってもいなかったの。駐在さんや消防団の方に途中出会ったのよ、小学校の避難所に到着したのね、上階への指示で階段を上がったら、子どもを連れてお母さんが入口付近にいたのよ、海岸遠くから黒い塊が向かってくるの。そしてあっという間に渦巻いて身動き取れなくなったのね。集落すべてが波で流されたの。わが家も跡形なく。入口付近にいた親子も・・・」と赤間理事。

赤間理事は荒浜集落の友の会会員の状況をよく把握されています。残念ですが1名の会員さんが亡くなられていました。避難所ではお互い声を掛け合い、友の会ニュースやお知らせなども配布していただいています。久しぶりの再会で「ありがとね全国から来てくれたの」優しく対応してくれました。あっという間に時間が過ぎました。

全国からの支援物資 喜ばれています!!!

前回の支援物資の呼び掛けに、京都民医連はじめ多くの事業所から台所用品を届けていただきました。若林クリニックの待合室には、避難所生活をされている患者さんや友の会の皆さんが来られて、大変喜ばれています。

台所用品募集!

鍋、ヤカン、包丁、食器などの台所用品をあらためて募集します。

次の県連、事業所から支援物資を送りますと連絡がありました。長野民医連、太田病院、西都保健生協みその歯科、本当にありがとうございます。※4月30日までは、若林クリニックへ直接お送りください。その後については、全日本民医連現地対策本部と相談となります。

■昨日の行動■ 2011年4月28日(木)

□参加者	8名	累計	684名
		(含む引越し作業)	69名
□安否確認	51名	累計	4,477名
□訪問件数	51件	累計	3,961件
□避難所	件	累計	17

長町・若林地域訪問対策本部の電話
090-6325-7428は4月30日をもって終了します。